

令和 6 年度 中学部 1～3 年 (Ⅱ課程A①) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時間	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1～3学年		らくがき絵本 五味太郎 50%等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方などを身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思判表力)造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。(中2段階) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	年間を通して	(知及技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解することができる。 (中2段階/共通事項(A)) (思判表力)自分たちの作品や美術作品を鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。(中2段階/B鑑賞(A)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階ウ)	(知・技) 作品を鑑賞し、作品から感じ取ったことを友だちと話し合う等することで、様々な見る視点や感じ方があることを理解しようとしている。 (思・判・表)造形的なよさや美しさ、材料や表現方法の工夫等を感じ取り、表現の意図や異文化の美術の相違点や共通点等、気付いたことを伝えたり表現しようとしている。 (主学)表現や鑑賞の面白さを感じ取り、友だちと伝え合う等して、主体的に美術作品の見方や感じ方を深めようとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、ワークシート	中学部第2段階「鑑賞」 ・各単元の作品 ・名画鑑賞 ・鑑賞カード ・伝統工芸品 ・振り返りシート	・形や色などの違いに注目しながら身近にあるものや自分や友達作品、名画を鑑賞する(知・技に関する活動)。 ・作品を比較鑑賞などして、面白さや楽しさについて考え、感じたことを表現する(思・判・表に関する活動)。 ・対話的な学習を通して、表現や鑑賞の喜びや楽しく美術文化に触れる(主学に関する活動)。
	2	(知及技)材料や用具の扱い方に親しみ、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。(中2段階/A表現(イ)) (思判表力)造形的な特徴などからイメージを捉えることができる。(中2段階/共通事項(イ)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階ウ)	(知・技) 材料や用具の扱い方に親しみ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表そうとしている。 (思・判・表)造形的な特徴などからイメージを捉えようとしている。 (主学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	中学部第2段階「表現(いろいろな技法)」 ・デカルコマニー ・スパックリング ・はじき絵	・主題に応じて絵の具をたらしたり、偶然生まれる形や色彩を楽しんだりするなど、さまざまな技法に挑戦する。技法を生かしたり、連続模様や人物表現、身近な造形作品制作等、表し方を工夫できることを知る(知・技に関する活動)。 ・いろいろな表現方法を活用して、色や形、材料などを生活の中で楽しめる作品づくりや、自分たちの作品鑑賞を通して、つくりだす喜びや見方、感じ方を広げ(思・判・表に関する活動)。 ・モダンテクニックで偶然に生まれる模様や形の面白さや色の重なり注目しながら制作し、完成作品を鑑賞する。(主学に関する活動)
	10	(知及技)材料や用具の扱い方に親しみ、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。(中2段階/A表現(イ)) (思判表力)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができる。(中2段階/A表現(A)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階ウ)	(知・技) 材料や用具の扱い方に親しみ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表そうとしている。 (思・判・表)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想しようとしている。 (主学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	中学部第2段階「表現(絵画)」 ・自由画 ・具象画 ・抽象画	・用具や材料の安全な取り扱い等について知る(知・技に関する活動)。 ・日常生活の中で経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする。自分たちの作品を鑑賞し、自分の見方や感じ方を深める(思・判・表に関する活動)。 ・表現や鑑賞の学習を通して、表現活動の喜びや自他の作品のよさや工夫などに気付き、心豊かな生活にしていこうとする態度や情操を培う(主学に関する活動)。
	8	(知及技)造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方を身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中2段階ア) (思判表力)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想をすることができる。(中2段階/A表現(イ)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階ウ)	(知・技) 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方を身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想しようとしている。 (主学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	中学部第2段階「表現(立体)」 ・紙 ・段ボール ・アルミホイール	・身近な素材での立体造形や伝統工芸、材料の特性等について知り、制作計画を通して見直しを持つ(知・技に関する活動)。 ・作品の用途を考え、装飾などの表現の工夫等、道具を自己選択しながら表現に生かす(思・判・表に関する活動)。 ・立体造形の特性を生かしながら試行錯誤して制作し、自他の表現方法の工夫や過程を振り返る(主・学に関する活動)。
	6	(知及技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解することができる。(中2段階/共通事項(A)) (思判表力)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想をすることができる。(中2段階/A表現(イ)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階ウ)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの特徴について理解しようとしている。 (思・判・表)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想しようとしている。 (主学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	中学部第2段階「表現(デザイン)」 ・色面構成	・教師の説明やスライドを見て色の持つ効果を知る。(知・技に関する活動)。 ・色の持つ効果をもとに、言葉や季節から持つイメージを色におきかえて表現する。(思・判・表に関する活動)。 ・様々な材料や用具を使った表現活動に取り組んだり、鑑賞したりして、形や色などに関わる楽しさを感じる(主学に関する活動)。

2 学期	6	(知及技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解することができる。(中2段階/共通事項(A)) (思判表力)造形的な特徴などからイメージを捉えることができる。(中2段階/共通事項(I)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階ウ)	(知・技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解しようとしている。(思・判・表)造形的な特徴などからイメージを捉えようとしている。(主学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	中学部第2段階「表現(デザイン)」 ・ポスター	・色や形の視覚的効果について知ることができる(知・技に関する活動)。 ・色や形の配置など、特徴をとらえて表現することができる(思・判・表に関する活動)。 ・ポスターを見る人の気持ちを想像して、主体的に取り組む(主学に関する活動)。
	10	(知及技)材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や陽具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。(中2段階A/表現(I)) (思判表力)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想をすることができる。(中2段階/A表現(I)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階ウ)	(知・技)材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や陽具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表そうとしている。(思・判・表)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想しようとしている。(主学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	中学部第2段階「表現(版画)」 ・ステンボード ・紙	・版画の種類や制作工程、材料や用具の安全な取り扱い方法等について知る(知・技に関する活動)。 ・表したいことに合わせて材料や用具を選び、制作工程を考えながら、創意工夫する(思・判・表に関する活動)。 ・日常生活の中で経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことを考えて、版材料や表現のよさを生かす(主・学に関する活動)。
	8	(知及技)材料や用具の扱い方に親しみ、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。(中2段階/A表現(I)) (思判表力)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想をすることができる。(中2段階/A表現(I)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階ウ)	(知・技)材料や用具の扱い方に親しみ、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表そうとしている。(思・判・表)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想しようとしている。(主学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	中学部第2段階「表現(立体)」 ・紙粘土	・身近な粘土造形や伝統工芸、材料の特性等について知り、制作計画を通して見直しを持つ(知・技に関する活動)。 ・作品の用途を考え、装飾などの表現の工夫等、道具を自己選択しながら表現に生かす(思・判・表に関する活動)。 ・粘土造形の特性を生かしながら試行錯誤して制作し、自他の表現方法の工夫や過程を振り返る(主・学に関する活動)。
	2	(知及技)材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や陽具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。(中2段階/A表現(I)) (思判表力)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想をすることができる。(中2段階/A表現(I)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階ウ)	(知・技)材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や陽具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表そうとしている。(思・判・表)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想しようとしている。(主学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	中学部第2段階「表現(デザイン)」 ・メッセージカード	・色の持つ効果やレタリングなどについて知ることができる(知・技に関する活動)。 ・装飾など、材料の特徴を生かして工夫する(思・判・表に関する活動)。 ・メッセージカードを送る相手を想像し、主体的に取り組む(主・学に関する活動)。
3 学期	4	(知及技)共同作品のねらいや材料・表現方法等の造形的な特徴を基に、表したいことに合わせて、材料や用具を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。(中2段階A/表現(I)) (思判表力)自分たちの作品を鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。(中2段階/B鑑賞(A)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階ウ)	(知・技)共同作品のねらいや材料・表現方法等の造形的な特徴を基に、表したいことに合わせて、材料や用具を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表そうとしている。(思・判・表)自分たちの作品を鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めようとしている。(主学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	中学部第2段階「表現(共同制作)」 ・卒業式壁画	・共同作品のねらいや材料・表現方法等の造形的な特徴について知る(知・技に関する活動)。 ・完成までの過程で自分のつくったものがどのように作品になっていくかを体験する。(思・判・表に関する活動)。 ・テーマや材料の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に取り組む、共同してつくりだす喜びや達成感を実感する(主・学に関する活動)。
	6	(知及技)材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や陽具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。(中2段階A/表現(I)) (思判表力)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想をすることができる。(中2段階/A表現(I)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階ウ)	(知・技)材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や陽具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表そうとしている。(思・判・表)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想しようとしている。(主学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	中学部第2段階「表現(工芸)」 ・小物(クラフトバンド)	・形や色彩などに着目し温かさなどをとらえ、加工方法を工夫して見直しを持つ(知・技に関する活動)。 ・小物を使う場面や使う人の気持ち、使いやすさなどを考え、構想を練ったり鑑賞したりする(思・判・表に関する活動)。 ・小物のよさや使いやすさなどを生かして作ることに興味を持つ(主・学に関する活動)。
	8	(知及技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解することができる。(中2段階/共通事項(A)) (思判表力)自分たちの作品や美術作品を鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。(中2段階/B鑑賞(A)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階ウ)	(知・技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解しようとしている。(思・判・表)自分たちの作品や美術作品を鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めようとしている。(主学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	中学部第2段階「表現(ポートフォリオ)」 ・作品のまとめ	自他の作品を鑑賞し、作風や色彩・材料などから作者の意図を感じ取る(知・技に関する活動)。 ・作品集等を基に、学んだことや造形的なよさ、見方や感じ方を深める(思・判・表に関する活動)。 ・対話的な学習を通して、表現や鑑賞の喜びや楽しく美術文化に触れる(主・学に関する活動)。
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 中学部 1～3 年 (Ⅱ課程A②) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1～3 学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方などを身に付けるとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思判表力)造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことについて考え、経験したことや材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品に親しみ自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。(中2段階) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	70	(知及技)自分や友達作品を鑑賞し、形や色彩、材料などの特徴を理解する。(中2段階：共通ア) (思判表力)自分たちの作品を鑑賞して、良さや面白さを感じ取り、見方や感じ方を深める。(中2段階：鑑賞ア) (学・人)創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培う。(中2段階)	(知・技)形や色彩、材料、光などの特徴や、それらが感情にもたらす効果などを理解しようとしている。 (思・判・表)自分や友達作品や制作過程から、造形的な美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学)対話的な学習を通して、美術の表現や鑑賞の喜びを味わい、楽しく学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動や発言の記録、作品、ワークシート等	○自分や友達作品を鑑賞しよう ～友達と自分の作品の違いを見よう～ ～感じたことを発表しよう～	・色や形などの違いに注目して、友達作品をよく見てみる。(知・技に関する活動) ・友達作品を鑑賞して気づいたこと、感じたことなどを表現する。(思・判・表に関する活動) ・対話的な学習を通して、楽しく美術の文化に触れる。(主学に関する活動)
	4	(知及技)形や色彩、材料や光の特徴について知る。(中1段階：共通ア) (思判表力)形や色などの感じを基に自分のイメージを持つ。(小3段階：共通イ) (学・人)作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組み、楽しい生活を想像しようとする態度を持つことができる。(中1段階)	(知・技)形や色彩、材料や光などの造形的な視点や、多様な表現、鑑賞の学習について分かろうとしている。 (思・判・表)参考作品の形や色などの感じを基に、自分の考えたことを伝えたり、材料や用具を選択して表現しようとする。 (主学)美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく作品鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動や発言の記録、作品、ワークシート等	○オリエンテーション ○自己紹介カードを書いてみよう ～私の好きなもの～ ～美術でやってみたいこと～ ～自分の顔を描こう～	・様々な表現活動があることを知り、一年間の流れを確認する。約束事や道具の使い方、片付けについて学ぶ。(知・技に関する活動) ・表現活動や鑑賞学習の大切さを感じ取り、取り組んでみたいことを考える。(思・判・表に関する活動) ・表現や鑑賞の学習に関心を示したり、好きな画材や色を選択して、自己紹介カードに取り組む。(主学に関する活動)
1 学期	10	(知及技)自分の感覚や行為を通して形や色などの感じに気づく。(小3段階：共通ア) (思判表力)自分たちの作品や日常生活にあるものの形や色、表し方の面白さなどについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げる。(小3段階：鑑賞ア) (学・人)作り出す喜びや形や色などに関わることでより楽しく豊かな生活を想像する。(小3段階)	(知・技)身近な材料や用具を使って描いたり、色を塗ったりしようとする。 (思・判・表)自分たちの作品や日常生活の中にある色や形などについて、面白さや特徴を感じ取り、注目したり自分の表現に取り入れてみたりして見方を広げようとする。 (主学)材料などに注目し、集中して表現活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動や発言の記録、作品、ワークシート等	○好きなものを描こう	・材料や用具に親しみ、描きたいものに応じてマジックや色鉛筆、絵の具など材料や用具を選んで描く。(知・技に関する活動) ・いろいろな表現方法を工夫して、自分の好きなものや得意な事を思い出して描く。(思・判・表に関する活動) ・友達の表現活動を鑑賞して自分と友達との表現方法の違いを見つけ、楽しんで活動する。(主学に関する活動)
	12	(知及技)材料や用具の扱いに親しみ、形や色、材料の特徴を知り、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選ぶことができる。(中1段階：表現イ、共通ア) (思判表力)経験したことや見たこと、思ったことから、表したいことを考えて思いつくことができる。(中1段階：表現ア) (学・人)楽しく美術の活動に取り組み、心豊かな生活を営む態度を養う。(中1段階)	(知・技)材料や用具の扱い方を知り、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選び使って表そうとする。 (思・判・表)興味関心のあることや経験したこと、材料などを基に表したいことを考えて構想し表現しようとする。 (主学)興味や関心を持って楽しく美術の表現や鑑賞に取り組み、美術の活動が好きになったり、自分の表現が日常生活の中に取り入れようとする。 【評価資料】活動や発言の記録、作品、ワークシート等	○気になる風景を描いてみよう ～身のまわりにあるものをよく見てみよう～	・用具や材料の扱い方を理解し、ものの形や色などの特徴について知る。(知・技に関する活動) ・見た風景やものの形を捉えて紙の上に表し、画面を構成し工夫して書く。友達作品鑑賞を通して、見方や感じ方を広げる。(思・判・表に関する活動) ・よくできた所や頑張ったことを発表し合い、自分や友達の作品の良さに気づく。(主学に関する活動)
	8	(知及技)版画の制作工程、材料や用具の特徴などが理解できる。(中1段階：表現イ、共通ア) (思判表力)経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことを考えて発想する。(中1段階：表現ア) (学・人)楽しく美術の活動に取り組み、心豊かな生活を営む態度を養う。(中1段階)	(知・技)版画の方法や材料、用具の種類、安全な取り扱い方法について理解しようとする。 (思・判・表)経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいテーマや表現方法を考えて発想や構想しようとしている。 (主学)主体的に楽しんで表現や鑑賞に取り組む、表現方法を創意工夫したりする。 【評価資料】活動や発言の記録、作品、ワークシート等	○ステレン版画で表現する ～線や模様で表現しよう～	・版画の種類や制作工程、材料や用具の安全な使い方について知る。(知・技に関する活動) ・ステレンボードをひっかけたり突いたりして、線の効果を考えながら画面を構成し表現する。(思・判・表に関する活動) ・経験したことや思いついたことを工夫して表現し、自他の作品の違いや良さを知る。(主学に関する活動)

2 学 期	8	(知・技) 粘土造形の特徴や道具の扱い方などに親しみ、造形的な視点や制作工程を理解して表し方を工夫することができる。(中1段階:表現イ、共通ア) (思・判・表) 思ったこと、材料など基に表したいことを考えて発想する。(中1段階:表現ア、共通イ) (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、自分の見方や感じ方を広げる。(中1段階:鑑賞ア)	(知・技) 粘土の特性や道具の造形的な視点や工程を理解し、表し方を工夫しようとする。 (思・判・表) 思ったことや材料などを基に表したいことを考えて発想しようとする。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、自分の見方や感じ方を広げようとしている。 【評価資料】活動や発言の記録、作品、ワークシート等	○陶板を作る ～自分の顔を飾ってみよう～	・粘土の特徴について知り、用具を選んで表し方を工夫して作る。(知・技に関する活動) ・自分の顔の特徴を面白く表現し、丸めたり伸ばしたりした粘土を並べて模様を考え、組み合わせで陶板の形に納める。(思・判・表に関する活動) ・工夫した所や頑張ったところを発表し、自他の作品を鑑賞し、友達の作品の良さを見つけて振り返る。(主学に関する活動)
	10	(知・技) iPadや材料の扱いに親しみ、粘土造形の特徴や道具の扱い方などに親しみ、表したいことに合わせて材料を選んで工夫する。(中1段階:表現イ、共通ア) (思・判・表) 経験したことや思ったことを、材料など基に表したいことを考えて発想する。(中1段階:表現ア、共通イ) (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、自分の見方や感じ方を広げる。(中1段階:鑑賞ア)	(知・技) iPadのアプリの使い方を理解し、小麦粉粘土の色や形を活かして制作しようとする。 (思・判・表) 思いついたことや想像したことを基に、表したいことや動きの面白さについて工夫しようとする。 (主学) 友達の作品制作過程を観察しながら感想を話し合い、進んで取り組もうとする。 【評価資料】活動や発言の記録、作品、ワークシート等	○アニメーションを作る ～想像の世界を表現しよう～	・iPadのアプリを使ったアニメーション制作の作業工程を理解し、小麦粉粘土の特性を活かして色や形の表し方を工夫する。(知・技に関する活動) ・経験したことや思いついたこと、材料を基に表したいものを考え、どうしたら面白い動きを表現できるか試行錯誤する。(思・判・表に関する活動) ・友達の制作の過程を鑑賞し、お互いの作品について話し合ったり感想を発表したりして、見方や感じ方を広げる。(主学に関する活動)
3 学 期	10	(知・技) 材料や用具の扱い方を身に付け、テーマに合わせて材料や用具の特徴を活かしたり、組み合わせたりして計画的に表す。(中2段階:表現イ、共通ア) (思・判・表) テーマから想像したことや材料など基に、表し方を考えて発想する。(中2段階:表現ア) (学・人) 主体的に共同制作に取り組み、想像する喜びを味わい、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)	(知・技) 共同制作のねらいや材料、表現方法の造形的な特徴を基に、材料や用具を組み合わせて計画的に表そうとする。 (思・判・表) 共同制作の過程を鑑賞し、友達の表現の良さや面白さに気づき、自分の見方や感じ方を広げながら参加しようとしている。 (主学) 共同制作の仲間とともに作り出す喜びや自分の役割など実感しながら取り組もうとしている。 【評価資料】活動や発言の記録、作品、ワークシート等	○卒業式壁画制作	・卒業式壁画のねらいが分かり、材料や用具を表したいことに合わせて選んで使う。(知・技に関する活動) ・卒業生をお祝いし、応援する気持ちを形や色にどのように表現するか、考えて制作する。(思・判・表に関する活動) ・学校の生徒全員の絵を組み合わせ共同制作し、大きな絵を仕上げる喜びを味わう。(主学に関する活動)
	8	(知・技) 美術作品の形や色彩、材料などの働きを理解する。(中2段階:共通ア) (思・判・表) 美術作品を鑑賞して、良さや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深める。(中2段階:鑑賞ア) (学・人) 主体的に美術鑑賞の学習に取り組むことができる。(中2段階)	(知・技) 美術作品を鑑賞し、作品から感じ取ったことを友達と話し合い、様々な視点や感じ方があることを理解しようとしている。 (思・判・表) 美術の造形的なよさや美しさ、材料や表現方法の工夫等を感じ取り、表現の意図や異文化の美術の違いや共通点、気づいたことを気づいたことを伝えたり表現しようとしている。 (主学) 美術の表現や鑑賞の面白さを感じ取り、友達と伝え合うなどして見方や感じ方を深めようとしている。 【評価資料】活動や発言の記録、作品、ワークシート等	○日本の美術、世界の美術	日本や世界の美術をよく見て、形や色の違い、材料等の役割など理解する。(知・技に関する活動) ・美術作品の良さや感じたことなどを話し合い、人によって感じ方が違うことが分かる。(思・判・表に関する活動) ・様々な美術作品に触れ、思ったことを発表し合い、美術文化に触れることを楽しむ。(主学に関する活動)
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 中学部 1～3 年 (Ⅱ課程B①) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1～3学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけるようにする。(中1段階) (思判表力)造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中1段階) (学・人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	70	(知及技)自分や友達の作品を鑑賞し、形や色、材料などの違いに気付くことができる。(小2段階：共通ア) (思判表力)自分たちの作品を鑑賞して、形や色の面白さを感じ取り、見方や感じ方を広げる。(小2段階：鑑賞ア) (学・人)創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培う。(中1段階)	(知・技)形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果などに気付く。 (思・判・表)自分や友達の作品から、よさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学)対話的な学習を通して、美術の表現や鑑賞の喜びを味わい、楽しく学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動や発言の記録、提出作品で評価する。	○自分や友達の作品を鑑賞しよう ～友達と自分の作品の違いを見つけよう～	・色や形などの違いに注目して、友達の作品をよく見てみる。(知・技に関する活動) ・友達の作品を鑑賞して感じたことなどを表現する。(思・判・表に関する活動) ・対話的な学習を通して、楽しく美術の文化に触れる。(主学に関する活動)
		(知及技)様々な材料を使い、形や色に気づくことができる。(小3段階：表現イ)共通(ア) (思判表力)材料や感じたこと、見たこと、形や色の違いを基に自分のイメージを持つことができる。(小3段階：表現ア)共通(イ) (学・人)進んで見たり触ったりする活動に取り組み、形や色の面白さを感じ取ることができる。(小2段階：鑑賞ア)	(知・技)新聞紙や色紙などの素材に触れ、感触を確かめたり、形や色の違いを知ろうとする。 (思・判・表)紙などの感じや形や色の違いにより、何かのイメージと重ねてみたり考えたりしようとする。 (主学)自分から手を伸ばして触ったりよく見ようとしている。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	いろいろな紙の感触を楽しむ。	・新聞紙やお花紙、色紙など素材によって感触が違うことが分かり、形や色をよく見る。(知・技に関する活動) ・色や形を見て、何かをイメージして触ったり握ったりすることを楽しむ。(思・判・表に関する活動) ・手を伸ばして触れたり、声を出したり表情で人に伝えたりする。(主学)
1学期	10	(知及技)様々な材料や用具を使い、自分の感情を通して形や色に気付くことができる。(小3段階：表現イ)共通(ア) (思判表力)材料や感じたこと、見たことから表したいと思いつくことができる。(小3段階：表現ア) (学・人)見たり触ったりする活動に楽しんで取り組み、生活の中にあるものの面白さを感じ取ることができる。(小2段階：鑑賞ア)	(知・技)のりや絵の具の扱いに慣れ、用具を正しく使って色や形の変化を見ようとする。 (思・判・表)材料の感触を楽しみながら、何かの形を描こうとしたり友達と関わりながら表現方法を考えたりしている。 (主学)すすんで見ようとしたり、触ったり描いたりして面白さを感じようとする。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	赤青黄色の絵の具を混ぜてみよう ～のりえのぐを使って～ ～かたくりこを使って～	・必要な用具や材料を正しく使ったり、絵の具が混ざると色が変わることを知る。(知・技に関する活動) ・のりや片栗粉の感触に親しみ、手指や用具を使って、線や形を描いてみる。何かのイメージと結びつけて表現する。(思・判・表に関する活動) ・進んで手を伸ばして材料に触れ、のびのびと表現することを楽しむ。(主学に関する活動)
		(知及技)様々な材料や用具を使い、絵を描いたり作品を作ったりする。(小2段階：表現イ) (思判表力)材料の形や色のイメージや想像したこと、思ったことから表したいと思いつくことができる。(小3段階：表現ア)共通(イ) (学・人)日常生活にあるものの形や表し方の面白さを感じ取ることができる。(小2段階：鑑賞ア)	(知・技)好きな用具を選び、描いたり貼ったりして海の生き物の形を捉えようとする。 (思・判・表)生き物の写真やイラストを見てイメージし、自分なりの色や形を表現しようとする。 (主学)みんなで作った海の生き物を並べて、魚釣りゲームを楽しんでいる。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	魚釣りゲームを楽しむ	・海の生き物の色や形をはさみで切ったり、マジックや絵の具などの材料を選んで色を塗ったりシールを貼ったりして作る。(知・技に関する活動) ・写真や図鑑など見て海の生き物について思い出し、自分のイメージの色や模様を表現する。(思・判・表に関する活動) ・いろいろな方法で描いたり、みんなの作品を見たりゲームをして楽しむ。(主学に関する活動)
2学期	12	(知及技)様々な材料や用具を使い、形や色の感じに気づき、工夫して作品を作ることができる。(小3段階：表現イ)共通(ア) (思判表力)材料や感じたこと、想像したことを見たことから、表したいと思いつくことができる。(小2段階：表現ア)共通(イ) (学・人)いろいろな表現方法を楽しみ、自分たちの作品や表し方の面白さを感じることができる。(小3段階：鑑賞ア)	(知・技)版画技法の名前を知り、言葉やジェスチャーで表そうとする。また、自ら進んで材料や用具を選択して使用している。 (思・判・表) 版画で表現したいことについていろいろな方法を試して、自分なりに表現しようとしている。 (主学)意欲的に表現や鑑賞の活動に取り組み、活動を楽しんでいる。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	スチレン版画	・スチレンボードをひっかいたり型押ししたりして原画を作り、ローラーでインクをつけて刷ると違う作品に変化する様子を見る。(知・技に関する活動) ・線や形を組み合わせた、好きなものを描いたりして工夫して模様を作る。(思・判・表に関する活動) ・自分や友達の作品を見て、表現の違いを感じたり版画の面白さを味わう。(主学)

	14	<p>(知及技) 様々な材料や用具を使い、形や色の感じに気づき、工夫して作品を作ることができる。(小3段階:表現(イ)共通(ア))</p> <p>(思判表力)材料や感じたこと、想像したこと見たことから、形や色などを基に自分のイメージを持ち、表したいと思いつくことができる。(小3段階:表現(ア)共通(イ))</p> <p>(学・人)いろいろな表現方法を楽しみ、自分たちの作品や表し方の面白さを感じることができる。(小3段階:鑑賞(ア))</p>	<p>(知・技)身近な材料を使い、形に気付いて作ったり、用具を正しく使って切ったり貼ったりして工夫している。</p> <p>(思・判・表)材料から乗り物の形を想像したり、工夫して模様を作ったりしようとしている。</p> <p>(主学)いろいろな材料を組み合わせることを楽しみ、修学旅行に向けて意欲的に取り組もうとする。</p> <p>【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。</p>	<p>修学旅行の乗り物を作ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にある空き箱や段ボールを組み合わせ、飛行機やバスの形を捉えて作り、テープを正しく使って接着する。(知・技に関する活動) ・修学旅行のことを想像しながら、色や形を自由に表現する。(思・判・表に関する活動) ・面白い飾りを付けたり、自分と友達の作品を見比べたりしながら創作活動を楽しむ。(主学)
3 学 期	8	<p>(知及技) 様々な材料や用具を使い、形や色などの感じを基に、工夫して絵を描いたりできる。(小3段階:表現(イ)共通(ア))</p> <p>(思判表力)材料や感じたこと、想像したこと見たことから、形や色などを基に自分のイメージを持ち、表したいと思いつくことができる。(小3段階:表現(ア)共通(イ))</p> <p>(学・人)いろいろな表現方法を楽しみ、自分の感じ方を広げることができる。(小3段階:鑑賞(ア))</p>	<p>(知・技)色や形などの違いに気付き、言動やジェスチャーで表そうとして、自ら用具を選び使用している。</p> <p>(思・判・表)卒業式壁面のテーマに沿って表したいことを考え、自分なりに表現しようとしている。</p> <p>(主学)友達と協力して制作に取り組んでいる。完成した壁面を見たり、指さしている。</p> <p>【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。</p>	<p>卒業式壁面を制作しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色紙やマジックなどを組み合わせ、テーマに合った形を表現する。(知・技に関する活動) ・卒業式の写真や動画を見て思い出し、3年生を応援する色や形を表現する。(思・判・表に関する活動) ・一人一人の作品を組み合わせたり、皆で共同制作する。(主学)
	10	<p>(知及技) 形や色などの感じに気付くことができる。(小3段階:共通(ア))</p> <p>(思判表力)材料や感じたこと、想像したこと見たことから、形や色などを基に自分のイメージを持ち、表したいと思いつくことができる。(小3段階:表現(ア)共通(イ))</p> <p>(学・人)日常生活の中にあるものの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方を広げることができる。(小3段階:鑑賞(ア))</p>	<p>(知・技)粘土に触れ、可塑性を楽しみ、用具を使用して形を作ろうとしている。</p> <p>(思・判・表)シーサーや小皿等の形を意識しながら自分なりに形を作ろうとしている。</p> <p>(主学)意欲的に表現や鑑賞の活動に取り組み、活動を楽しんでいる。</p> <p>【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。</p>	<p>身のまわりの沖繩の工芸品を見てみよう ～自分のオリジナルシーサーを作ろう～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にある沖繩の工芸品を見たり触ったりして、形や色の感じについて話し合う。(知・技に関する活動) ・シーサーや陶器のお皿、紅型などの作品をよく見て沖繩の工芸品を真似て、自由に制作する。(思・判・表に関する活動) ・いろいろな作品を比べたりしながら、鑑賞活動や創作を楽しむ。(主学)
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 中学部 1～3 年 (Ⅱ課程B②) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1～3学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむ。(中1段階) (思判表力)造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、材料などを基に、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中1段階) (学・人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	70	(知及技)自分や友達作品を鑑賞し、形や色、材料などの違いに気付くことができる。(小1段階:共通ア) (思判表力)自分たちの作品を鑑賞して、形や色の面白さを感じ取る。(小1段階:鑑賞ア) (学・人)自分や友達作品に触れ、興味をもって鑑賞することができる。(小1段階)	(知・技)形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果などに気付く。 (思・判・表)自分や友達作品から、よさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学)自分の作品や友達作品を見る活動に、楽しく取り組もうとしている。 【評価資料】 活動や発言の記録、提出作品で評価する。	○自分や友達作品を鑑賞しよう ～友達と自分の作品の違いを見つけよう～	・色や形などの違いに注目して、友達作品をよく見てみる。(知・技に関する活動) ・友達作品を鑑賞して感じたことなどを表現する。(思・判・表に関する活動) ・対話的な学習を通して、楽しく作品を見ることができる。(主学に関する活動)
		(知及技)様々な材料を使い、形や色に気づくことができる。(小1段階:表現イ)共通(ア) (思判表力)材料や形や色の感じを基に、自分のイメージを持つことができる。(小1段階:表現(ア)共通(イ)) (学・人)進んで見たり触ったりする活動に取り組み、形や色の面白さを感じ取ることができる。(小1段階:鑑賞(ア))	(知・技)新聞紙や色紙などの素材に触れ、感触を確かめたり、形や色の違いを知ろうとする。 (思・判・表)紙などの感じや形や色の違いにより、何かのイメージと重ねてみたり考えたりしようとする。 (主学)自分から手を伸ばして触ったりよく見ようとしている。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	いろいろな紙の感触を楽しむ。	・新聞紙やお花紙、色紙など素材によって感触が違うことが分かり、形や色をよく見る。(知・技に関する活動) ・色や形を見て、何かをイメージして触ったり握ったりすることを楽しむ。(思・判・表に関する活動) ・手を伸ばして触れたり、声を出したり表情で人に伝えたりする。(主学)
1学期	10	(知及技)様々な材料や用具を使い、自分の感情を通して形や色に気付くことができる。(小1段階:表現イ)共通(ア) (思判表力)材料から表したいことを思いつくことができる。(小1段階:表現(ア)) (学・人)見たり触ったりする活動に楽しんで取り組み、生活の中にあるものの面白さを感じ取ることができる。(小1段階:鑑賞(ア))	(知・技)のりや絵の具の扱いに慣れ、用具を正しく使って色や形の変化を見ようとする。 (思・判・表)材料の感触を楽しみながら、何かの形を描こうとしたり友達と関わりながら表現方法を考えたりしている。 (主学)すすんで見ようとしたり、触ったり描いたりして面白さを感じようとする。 【評価基準】提出作品、活動の様子観察で評価する。	赤青黄色の絵の具を混ぜてみよう ～のりえのぐを使って～ ～かたくりこを使って～	・必要な用具や材料を正しく使ったり、絵の具が混ざると色が変わることを知る。(知・技に関する活動) ・のりや片栗粉の感触に親しみ、手指や用具を使って、線や形を描いてみる。何かのイメージと結びつけて表現する。(思・判・表に関する活動) ・進んで手を伸ばして材料に触れ、のびのびと表現することを楽しむ。(主学に関する活動)
		(知及技)身近な材料を使い、作品を作ったりする。(小1段階:表現イ) (思判表力)材料の形や色から表したいことと思いつくことができる。(小1段階:表現(ア)共通(イ)) (学・人)日常生活にあるものの形を見ることができる。(小1段階:鑑賞(ア))	(知・技)好きな紙を選び、丸めたりちぎったりしてピンの形を仕上げようとする。 (思・判・表)写真やイラストを見てゲームをイメージし、形を表現しようとする。 (主学)みんなで作ったポウリングのピンを並べて、ポウリングのゲームをしている。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	ポウリングゲームを楽しむ	・お花紙や色紙を選んだり、シールを貼ったりして作る。(知・技に関する活動) ・写真やイラストを見てポウリングのゲームを思い出し、自分のイメージの色や模様を表現する。(思・判・表に関する活動) ・いろいろな方法でピンの飾りを作ったり、みんなの作品を見たりしてゲームをする。(主学に関する活動)
2学期	12	(知及技)材料や用具を使い、形や色の感じに気づき、作品を作ることができる。(小1段階:表現イ)共通(ア) (思判表力)材料から、表したいことと思いつくことができる。(小1段階:表現(ア)) (学・人)いろいろな表現方法を楽しみ、自分たちの作品を見ることができる。(小1段階:鑑賞(ア))	(知・技)版画技法の名前を知り、言葉やジェスチャーで表そうとする。また、自ら進んで材料や用具を選択して使用している。 (思・判・表)版画で表現したいことについていろいろな方法を試して、自分なりに表現しようとしている。 (主学)表現や鑑賞の活動に取り組んでいる。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	スチレン版画	・スチレンボードをひっかいたり型押ししたりして原画を作り、ローラーでインクをつけて刷ると違う作品に変化する様子を見る。(知・技に関する活動) ・線や形を組み合わせたり、好きなものを描いたりして工夫して模様を作る。(思・判・表に関する活動) ・自分や友達作品を見て、表現の違いを感じる。(主学)

期	14 (知・技) 材料の形や色の感じに気づき、作品を作ることができる。(小1段階: 表現(イ) 共通(ア)) (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと見たことから、形や色などを基に自分のイメージを持ち、表したいこと思いつくことができる。(小1段階: 表現(ア) 共通(イ)) (学・人) いろいろな表現方法を楽しみ、面白さを感じることができる。(小1段階: 鑑賞(ア))	(知・技) 身近な材料を使い、切ったり貼ったりして工夫している。 (思・判・表) 材料から乗り物の形を想像したり、工夫して模様を作ったりしようとしている。 (主学) いろいろな材料を組み合わせることを楽しみ、修学旅行に向けて意欲的に取り組もうとする。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	修学旅行の乗り物を作ろう	・身近にある空き箱や段ボールを組み合わせ、飛行機やバスの形を作り、テープを使って接着する。(知・技に関する活動) ・修学旅行のことを想像しながら、色や形を表現する。(思・判・表に関する活動) ・自分と友達作品を見比べたりしながら創作活動を楽しむ。(主学)
3 学 期	8 (知・技) 材料を使い、形や色などの感じを基に、描いたりできる。(小1段階: 表現(イ) 共通(ア)) (思・判・表) 材料から、形や色などを基に自分のイメージを持ち、表したいことを思いつくことができる。(小1段階: 表現(ア) 共通(イ)) (学・人) いろいろな表現方法を楽しむことができる。(小1段階: 鑑賞(ア))	(知・技) 色や形などの違いに気づき、言動やジェスチャーで表そうとして、自ら用具を選び使用している。 (思・判・表) 卒業式壁面のテーマに沿って自分なりに表現しようとしている。 (主学) 友達と協力して制作に取り組んでいる。完成した壁面を見たり、指さしている。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	卒業式壁面を制作しよう	・色紙やマジックなどを組み合わせ、テーマに合った形を表現する。(知・技に関する活動) ・卒業式の写真や動画を見て思い出し、3年生を応援する色や形を表現する。(思・判・表に関する活動) ・一人一人の作品を組み合わせたり、皆で共同制作する。(主学)
10	(知・技) 形や色などの感じに気づくことができる。(小1段階: 共通(ア)) (思・判・表) 材料から、形や色などを基に自分のイメージを持ち、表したいこと思いつくことができる。(小1段階: 表現(ア) 共通(イ)) (学・人) 日常生活の中にあるものの形や色の面白さについて感じ取る。(小1段階: 鑑賞(ア))	(知・技) 粘土に触れ、可塑性を楽しみ、形を作ろうとしている。 (思・判・表) シーサーの形を意識しながら自分なりに作ろうとしている。 (主学) 意欲的に表現活動に取り組み、活動を楽しんでいる。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	身のまわりの沖繩の工芸品を見てみよう ～自分のオリジナルシーサーを作ろう～	・身近にある沖繩の工芸品を見たり触ったりして、形や色の感じについて話し合う。(知・技に関する活動) ・シーサーや陶器のお皿、紅型などの作品をよく見て沖繩の工芸品を真似て、自由に制作する。(思・判・表に関する活動) ・いろいろな作品を比べたりしながら創作を楽しむ。(主学)
留意点 引継ぎ等				